

平成28年度 学校評価

宮城県田尻さくら高等学校

保護者提出分

～学校生活のより一層の充実を図っていきます!～

回収率が、昨年度の48%から、今年度は64.8%へと大幅に伸びた。先生方が日頃より、提出物をしっかり出させる指導を行っていることによる回収率向上であると思われる。

ここでは、とくに目立った項目を取り上げてみる。

(1) 肯定的評価(とても当てはまる・だいたい当てはまると回答)が高いもの、伸びたもの

①子どもは、学習の仕方や内容を身につけている。	76%→86%
②子どもたちの学習や読書活動に図書館が役立っている。	67%→75%
③保護者に対して、ギャラリー通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	87%→95%

※全年次による比較

①保護者の多くは、田尻さくら高校に子どもが入学してよかったと考え、学校が熱心に教育活動に取り組んでおり、子どもの学校生活は充実していると感じている。

①保護者は、本校の特色である少人数授業やそれによる学習内容の理解促進に高い評価をしている。

②図書館については、生徒の肯定的評価が昨年度も今年度も8割を超えており、生徒の声が保護者の評価(75%)につながっていると思われる。図書貸し出し数も本校は多いことから、生徒の教育に大変寄与していると思われる。

③保護者に対する連絡については、95%と評価が大変上がっている。情報処理部の先生方を始め、各分掌の部長や年次主任による情報伝達が少しずつ成果を上げていると思われる。

(2) 否定的評価(あまり当てはまらない・当てはまらないと回答)が高いもの・伸びたもの

P T A活動は活発であり、積極的に参加している。	48%→51%
---------------------------	---------

※全年次による比較

・PTA活動については、保護者自身の「積極的な参加」についての自己評価なので、否定的評価の割合が高いのは当然であろう。しかしながら、現状をしっかり把握した上で、総務部の先生方を中心とした働きかけが今後も必要であろうと思われる。

宮城県田尻さくら高等学校 学校評価（保護者）

■1 ともあてはまる ■2 だいたいあてはまる ■3 あまりあてはまらない ■4 あてはまらない

